

# Ram Air Intake System

ラムエアインテークシステムNo. MBK958  
取付・取扱説明書

## AutoExe

A New Driving Sensation

株式会社オートエクゼ

〒135-0051 東京都江東区枝川2-15-8  
TEL 03-6458-7251 FAX 03-6458-7261

この度は、オートエクゼ ラムエアインテークシステムをお買い上げいただき誠にありがとうございます。本書は、当製品を車両に組み付ける前に行う作業、組み付ける時の注意点が記載してあります。作業を行う前に必ずご一読いただき、お取付の際には本書に従って作業を進めていただくようお願いいたします。また作業終了時には本書を必ずお客様にお渡しください。

### 適合車種：アクセラ(BK5P)

本製品の装着に際しては別途マツダ純正部品が必要です。  
マイナーチェンジ前車(車台番号BK5P-~300000)はバッテリーダクト(部品番号：Z601-18-59YC)×1が、  
マイナーチェンジ後車(BK5P-300001~)はバッテリーダクト(Z601-18-59YC)、バッテリークランプ(BP4K-56-031C)、  
バッテリートレイ(BP4K-56-040L)、バッテリーボックスカバー(Z601-18-593E)、バッテリーボックス(Z601-18-591B)、  
バッテリークランプブラケット(BP4K-56-043)×各1が必要です。  
お近くのマツダ販売会社にてお買い求めください。

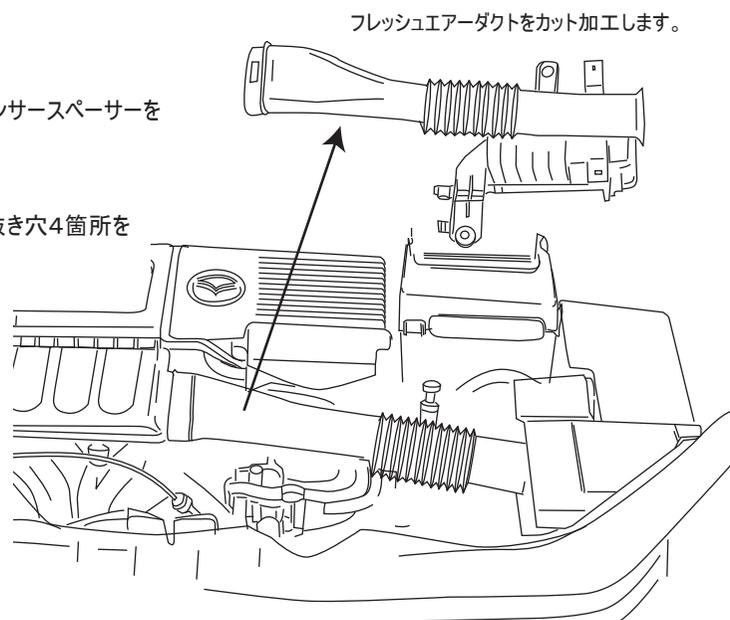
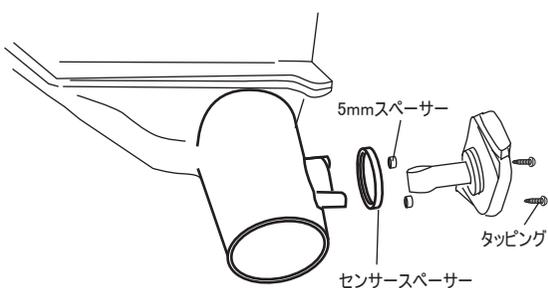
### 警告

- 本製品は遮熱効果を最大限発揮させるため、インテークダクトとボンネットのクリアランスが最小限となる様、設計されております。以上の事から車両の個体差によっては、ダクトケースとボンネットが干渉する場合があります。もし干渉が発生する場合は付属のクッションテープを干渉箇所に貼付するか、ボンネットの高さ調整を行ってください。
- 一般公道等、歩行者や他の交通の妨げになる場所では作業しないでください。
- 作業中に車が動き出さないように平坦な場所ですサイドブレーキ等をかけて確実に停車させてください。また、エンジンキーを抜きエンジンが完全に冷えてから作業を開始してください。
- 作業を行う場合は作業に適した服装で、必要に応じて保護手袋、保護眼鏡等を使用してください。
- 装着後は日頃のメンテナンスを十分に行い、各部の緩み等をチェックし増し締めを行ってください。
- 表記車種以外の車に取り付ける際の加工については当社は一切責任を負いません。
- 取扱説明書は作業終了後も紛失しないように大切に保管してください。

### ノーマルクリーナーの取り外し・取り付け準備

注)各作業は仮止めで行い、位置が決まってから増締めを行った方が容易です。

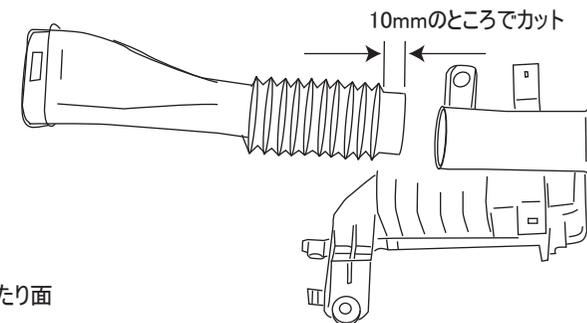
- 1:エアフロメーター及びPCM(コンピューター)のカブラーを外し、ノーマルクリーナーケースを取り外します。
- 2:ノーマルケース上側からエアフロセンサーを取り外し付属センサースペーサーを取り付けます。  
取り付けは付属のM4タッピング、5mmスペーサーを使用。
- 3:クリーナーケース内部をきれいに清掃し、ケース下側の水抜き穴4箇所を付属アルミテープで外側から貼り付け塞ぎます。  
テープは適当な大きさと4等分にカットしてご使用下さい。  
(脱脂してから貼り付けて下さい。)
- 4:フレッシュエアダクトをカット加工するため取り外します。



### PARTS LIST

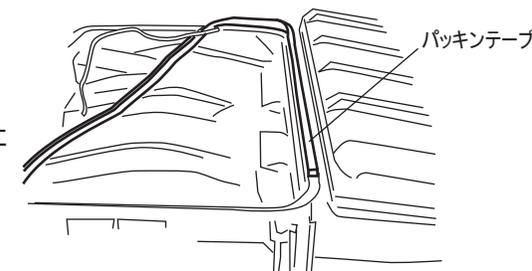


- 5:ケース下側先端のフレッシュエアダクトのジャバラ部から10mmの所でカット加工します。



- 6:ノーマルフィルターは使用しないため、ケース上下の当たり面(下側の溝)に付属のパッキンテープを貼り付けます。

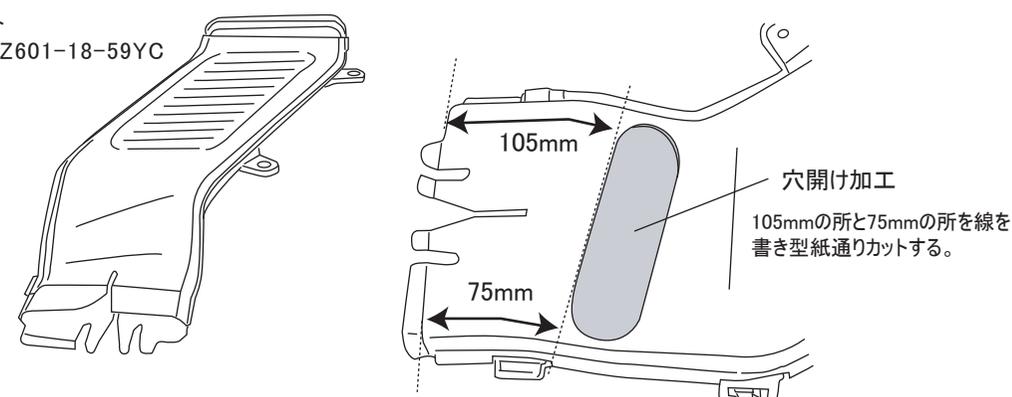
右図参照(テープは脱脂して貼り付けて下さい。)



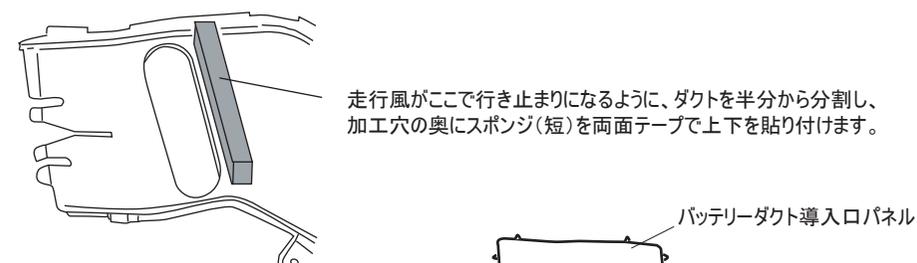
- 7:ノーマルクリーナーケースをフィルター無しで蓋をロックして元の位置に取り付けます。エアフロセンサー及びPCMのカブラーを元に戻します。

- 8:マツダ純正バッテリーダクトを加工します。ダクト裏側を下図を参照し加工します。(加工用型紙は別紙)

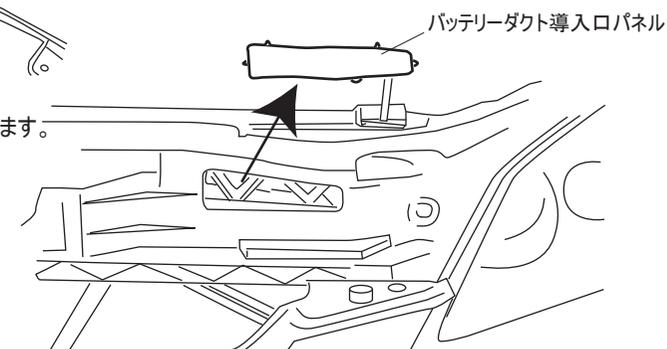
バッテリーダクト  
部品番号：Z601-18-59YC



- 9:フレッシュエアをカーボンダクトケース内に効率よく導くため、バッテリーダクトを2分割し内側にスポンジ短を両面テープで貼り付けます。



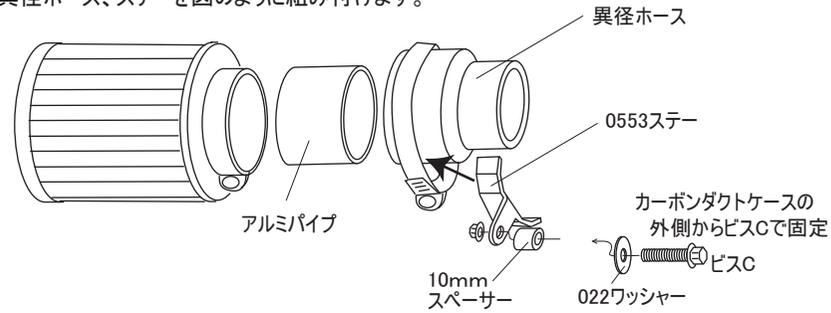
- 10:バッテリーダクトのフロント導入口のパネルを取り外します。



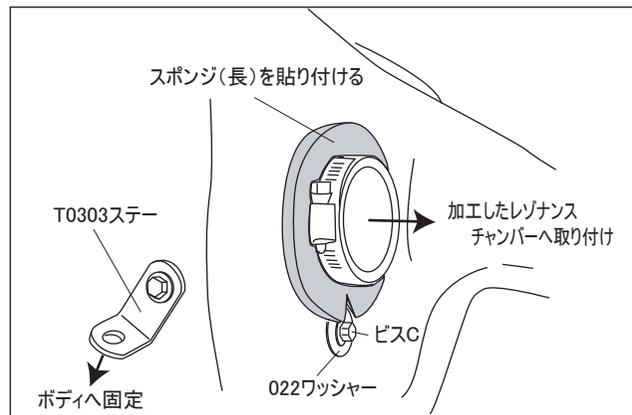
## ラムエアインテークシステムの取り付け

注)各作業は仮止めで行い、位置が決まってから増締めを行った方が容易です。

1: フィルター、アルミパイプ、異径ホース、ステーを図のように組み付けます。



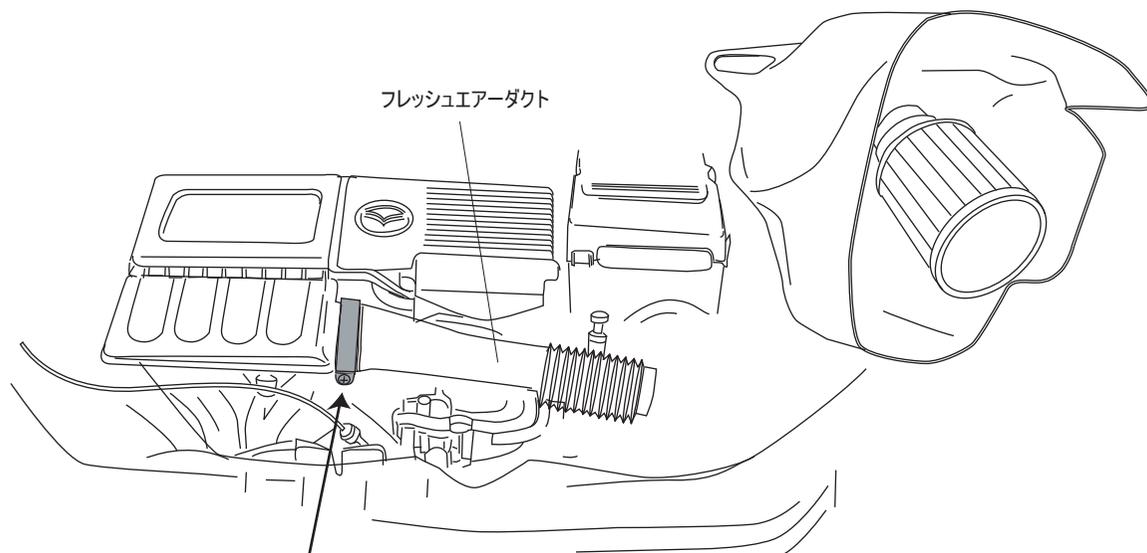
2: カーボンダクトケースのフィルターASSYが通る丸穴部分にスポンジ(長)を貼り付けます。(右図参照)



3: ビスCを使用してカーボンダクトケースにフィルターASSYを取り付けます。10mmスペーサー、022ワッシャーを挟みます。(右図参照)

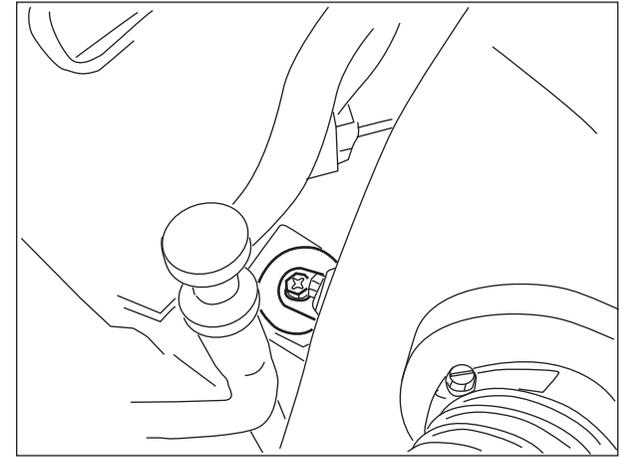
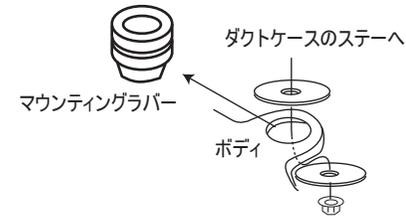
4: カーボンダクトケースにT0303ステーをビスA、ナットを使用して取り付けます。(右図参照)

5: 加工したフレッシュエアダクトに組み付けたラムエアインテークASSYを取り付けバンドで取り付けます。その時、樹脂ホースがつぶれないようバンドは締め付けすぎないようにご注意ください。



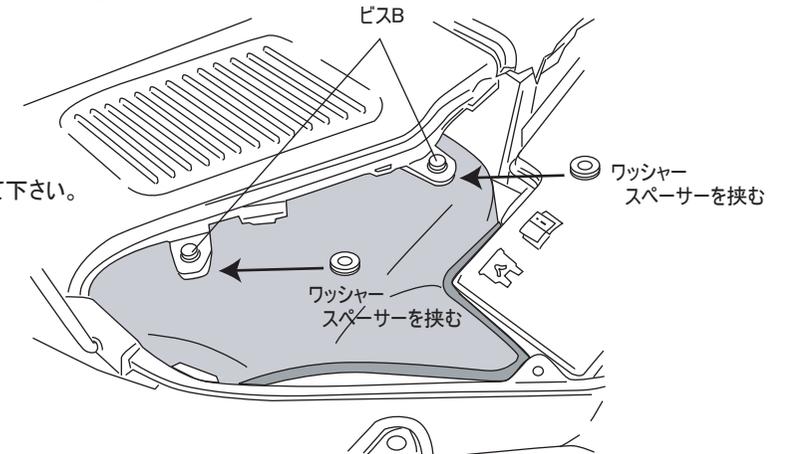
加工後にゴミが入らないよう連結部にバンドをします。付属バンド#44を少し変形させて取り付けます。締めすぎに注意。

6: カーボンダクトケースをボディに固定します。ノーマルクリーナーケースがささっていた穴のマウンティングラバーを外し、ワッシャーを上下に挟みステーを固定します。(φ40ワッシャー×2、ビスB×1、ナット×1 使用)



6: 加工したバッテリーダクトを装着し、ビスBで取り付けます。バッテリーダクトとカーボンダクトケースの間にワッシャースペーサーを挟んで取り付けます。

※各部緩みがないよう増し締めします。また、必ず定期的な増し締め点検を行なって下さい。



バッテリーダクト加工 型紙

